



アートとの触れ合いを 前面に出した温泉宿

東北新幹線的那須塩原駅から車で30分ほどの山中に、那須七湯の一つ、板室温泉があります。ここで、現代アートの展示と宿泊を組み合わせたユニークな温泉旅館を運営している大黒屋の室井俊二会長にお話を聞きました。

1000年以上の歴史を持つ湯治場として栄えてきた板室温泉ですが、高度成長期が過ぎると、全国各地の温泉郷と同様に、団体客中心から個人客中心へとビジネスモデルの大きな転換を迫られていました。大黒屋は約470年前に創業した老舗の旅館で、16代目に当たる室井さんの代になって、経営方針を大きく変えました。「保養とアート」をコンセプトに、現代アートの作品が旅館の庭や屋内のそこかしこに置かれ、独自の宿泊空間をつくり上げました。今でこそ、アートでまちおこしといった考え方は広く知られており、さまざまな地域に事例がありますが、室井さんは1980年代半ばから、アートを核に置いた旅館経営に取り組んできました。

具体的には、日本を代表する現代アートの作家である菅木志雄（すが・きしお）氏の創作活動を支援し、その作品を買収求めて旅館に展示・配置していきました。また、旅館の敷地の一角には、菅氏の作品を中心とした「倉庫美術館」を開設しました。世界に向けて日本の現代アートを発信する拠点を自前で那須の山中に一つ、つくり上げました。これにより、その分野に興味のある人にとって、そこはわざわざ足を運びたい場所となりました。室井さんによると、「アート作品を通じてお客様の感性を刺激し、人里離れた環境と相まって、この旅館に

滞在すること自体が特別な体験となってもらいたい」という狙いです。

先代から受け継いだ旅館を、アートを軸にモデルチェンジすることは、当初、金融機関をはじめ地元の自治体やそれまでの客にもなかなか理解されず、受け入れてもらえなかったそうです。もちろん、それまでの事業を築いた先代も反対でした。ただ、海外を巡った経験などから、この先は、強い独自性を持たないと生き残れないと考えた上で、アートで違いを生み出す戦略を進めたということです。

続けていくうちに、訪れた利用者にその価値が徐々に理解され、結果としてこの20年ほどはリピート率が7割に達するほど、しっかりとファンが根付いてきたとのこと。「駐車場には高級外車もあれば軽トラックも止まっています。富裕層であるか、そうでないかといったくくりでなく、アートを受け止める感性のある人が選んでくれている」と室井さんは言います。現在は経営を引き継いだ17代目が、予約や顧客の管理のIT化などに取り組み、室井さんとは別の意味での経営改革に取り組んでいます。

溪流のそばにたたずむ自然豊かで風光明媚（ふうこうめいび）、歴史もある温泉宿。それだけだと日本全国に競合が数多く存在します。そんな中でコスパ勝負ではない、オンリーワンとして選ばれるには、リスクを取る方法論とそれを支える経営哲学が必要なのだと感じました。

地域経済アナリスト／コンサルタント 渡辺 和博



合同会社ヒナニモ代表。元日経BP総合研究所上席研究員。筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了後、日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、消費分野の専門誌の編集を担当。日経BP総合研究所上席研究員として全国の自治体・商工会議所などでコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援。2025年4月から現職。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経BP社）。NHKラジオ『マイ！あさ』マイ！Bizコーナーでも地域の事業者の取り組みを定期的に紹介している。

このまちの笑顔をふやそう。



〒374-8512 群馬県館林市下早川田町700番地
ホームページアドレス <https://www.torisen.co.jp>



松原店

館林市松原3丁目 19-4
☎0276-57-6730

富士見町店

館林市富士見町 12-60
☎0276-76-2055

朝日町店

館林市朝日町 20-50
☎0276-75-6281

成島店

館林市北成島町 2533-1
☎0276-75-2735

資源リサイクル・一般廃棄物・産業廃棄物・医療廃棄物
ECO PARK YOKOTA
株式会社 横田商事

お客様に安心を届ける企業

エコパークヨコタ (検索)
<http://www.ecopark-yokota.com/>

本社：群馬県館林市足次町26番地1
足利事業所：栃木県足利市羽刈町763番地12
TEL.(0284) 72-2241(代) FAX.(0284) 72-2828